

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)DPI埼玉上里B 新築工事	種別	地上1F
建設地	埼玉県児玉郡上里町	構造	S造
用途地域	用途地域指定なし、防火地域指定なし	平均居住人員	100人
地域区分	B地域	年間使用時間	3,650時間/年(標準値)
建物用途	事務所工場	評価の段階	
竣工年	2020年9月	評価の実施日	2019年10月30日
敷地面積	61,401㎡	作成者	
建築面積	32,207㎡	評価日	2019年11月6日
延床面積	32,634㎡	評価者	



2-1 建築物の環境効率 (BEE) ランク & チャート

BEE = 1.11

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

30% ★★★★★ 60% ★★★★★ 80% ★★★★★ 100% ★★★★★ 100%組

環境計算

- ① 歩数値: 100%
- ② 建築物の環境効率: 82%
- ③ 上記②以外の: 82%
- ④ 上記: 82%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を一般論的な建築物(参照値)と比較したライフサイクルCO2排出量の目安を示したものです。

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.6

Q2 サービステキ性能 Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

LR0のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項

報告	その他の
<p>敷地面積が田圃地帯であることへ考慮した。具体的には、建物床面積は約3000㎡があるが、建物高さを平屋とする事で周辺環境への圧迫感を無くしている。また、建物外装の色調についても、彩度のある色は避け、無彩色(白・グレー(薄灰))で全体を配色し周辺の色調との調和を図っている。敷地についても道路境界線沿いには10m以上の植栽帯、また敷木も豊富に施し周辺環境へ配慮した。また、断熱性能の高い外皮を採用し、外皮性能を上げるなど温熱環境に配慮。</p> <p>① 断熱性能: 外皮断熱性能を向上させることにより、室内環境を快適に保つ。</p> <p>② 資源・マテリアル: 資源・マテリアルを削減し、環境負荷を低減させる。</p> <p>③ 敷地外環境: 敷地外環境を改善し、周辺環境との調和を図る。</p>	<p>④ その他: 敷地面積が田圃地帯であることへ考慮した。具体的には、建物床面積は約3000㎡があるが、建物高さを平屋とする事で周辺環境への圧迫感を無くしている。また、建物外装の色調についても、彩度のある色は避け、無彩色(白・グレー(薄灰))で全体を配色し周辺の色調との調和を図っている。敷地についても道路境界線沿いには10m以上の植栽帯、また敷木も豊富に施し周辺環境へ配慮した。また、断熱性能の高い外皮を採用し、外皮性能を上げるなど温熱環境に配慮。</p>

CASBEE Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ ライフサイクルCO₂は、建築物の部材生産・建設から運用・改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除いた年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の歩数、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (仮称)DPL埼玉上里B 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価シート: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート

評価項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q1 建築物の環境品質		2.6				2.6
1 音環境		3.2	0.15			3.2
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40			
1.2 遠音		3.0	0.40			
1 閉口部遮音性能		3.0	0.60			
2 界床遮音性能		3.0	0.40			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		4.0	-			
1.3 吸音	事務室の床(タイルカーペット)天井(岩綿吸音板)	2.1	0.20			
2 温熱環境		2.1	0.35			2.1
2.1 室温制御		3.2	0.50			
1 室温		3.0	0.38			
2 外皮性能	断熱性能の高い外皮	4.0	0.25			
3 ソーレ別制御性		3.0	0.38			
2.2 湿度制御		1.0	0.20			
2.3 空調方式		1.0	0.30			
3 光・換気環境		3.0	0.25			3.0
3.1 星光利用		3.0	0.43			
1 星光率		-	-			
2 方位別開口		-	-			
3 星光利用設備		3.0	1.00			
3.2 グレサ対策		-	-			
1 星光制御		-	-			
3.3 照度		3.0	0.21			
3.4 照明制御		3.0	0.36			
4 空気環境		2.8	0.25			2.8
4.1 発生源対策		3.0	0.50			
1 化学汚染物質		3.0	1.00			
4.2 換気		2.3	0.30			
1 換気量		3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33			
4.3 運用管理		3.0	0.20			
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50			
2 喫煙の制御		3.0	0.50			
Q2 サービス性能		-	0.30			3.2
1 機能性		2.7	0.40			2.7
1.1 機能性・使いやすさ		2.0	0.40			
1 広さ・収納性		3.0	0.50			
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.50			
3 バリアフリー計画		-	-			
1.2 心理性・快適性		3.3	0.30			
1 広さ感・景観		1.0	0.33			
2 リソロジーユーススペース	リソロジーユーススペースが執務スペースの1%以上、自動販売機の設置 共用部は、耐久性があり、かつメンテナンスのしやすい材料を選択	5.0	0.33			
3 内装計画		4.0	0.33			
1.3 維持管理		3.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50			
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30			3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50			
1 耐震性(建築物のつわれにくさ)		3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30			
1 軽体材料の耐用年数		3.0	0.20			
2 外装仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔	主要用途3種のうち、2種類以上にBを使用、Eは不使用	3.0	0.20			
2.4 信頼性		2.4	0.20			
1 空調・換気設備		1.0	0.20			
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3 電気設備		3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5 運搬・情報設備		2.0	0.20			

3 対応性・更新性	3.1 空間のゆとり		PS内配管、天井内こりがし配線・PF管保護等により容易 PS内配管、天井内こりがし配線・PF管保護等により容易	4.0	0.30	-	-	4.0
	1	階高のゆとり		5.0	0.43			
	2	空間の形状・自由さ		5.0	0.50			
	3.2 荷重のゆとり			5.0	0.40			
	3.3 設備の更新性			3.4	0.57			
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20			
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20			
	3	電気配線の更新性		5.0	0.10			
	4	通信配線の更新性		5.0	0.10			
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20			
6	バックアップシステムの確保	3.0	0.20					
G3 室外環境(敷地内)		-	0.40	-	-	-	2.1	
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	-	3.0	
3 地域性・コミュニティへの配慮		2.0	0.30	-	-	-	2.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	-	-	
3.2 敷地内温暖環境の向上		2.0	0.50	-	-	-	-	
LR1 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	-	3.6	
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	-	4.1	
1 建物外皮の熱負荷抑制		Brim=0.57	5.0	0.20	-	-	5.0	
2 自然エネルギー利用		[BEI][Bem]	3.0	0.10	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化		[BEI][Bem] = 0.64	4.5	0.50	-	-	4.5	
4 効率的運用		集合住宅以外の評価	2.5	0.20	-	-	2.5	
		4.1 モニタリング	3.0	0.50	-	-	-	
		4.2 運用管理体制	2.0	0.50	-	-	-	
		4.1 モニタリング	-	-	-	-	-	
		4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-	
LR2 資源・エネルギー		-	0.30	-	-	-	3.5	
1 水資源保護		-	3.4	0.20	-	-	3.4	
1.1 節水		水栓:自動水栓、天保器:兼音装置	4.0	0.40	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		1 雨水利用システム導入の有無	3.0	0.60	-	-	-	
		2 雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-	-	
		3.0	3.0	0.30	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.6	0.60	-	-	-	3.6	
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		5.0	0.20	-	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		5.0	0.20	-	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	-	3.3	
3.1 汚染物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.6	0.70	-	-	-	-	
		1 消火剤	4.0	0.50	-	-	-	
		2 発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50	-	-	-	
		3 冷媒	3.0	0.50	-	-	-	
LR3 敷地外環境		4.0	0.50	-	-	-	3.2	
1 地球温暖化への配慮		ライオサイケルCO2排出率が、82%	3.7	0.33	-	-	3.7	
2 地域環境への配慮		2.9	0.33	-	-	-	2.9	
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-	-	
2.2 過熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25	-	-	-	-	
		1 雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	-	
		2 汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	-	
		3 交通負荷抑制	3.0	0.25	-	-	-	
		4 廃棄物処理負荷抑制	2.0	0.25	-	-	-	
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	-	3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	-	-	
		1 騒音	3.0	0.50	-	-	-	
		2 振動	3.0	0.50	-	-	-	
		3 悪臭	3.0	0.50	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	-	-	
		1 風害の抑制	3.0	0.70	-	-	-	
		2 砂塵の抑制	3.0	-	-	-	-	
		3 日照阻害の抑制	3.0	0.30	-	-	-	
3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	-	-	
		1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	0.70	-	-	-	
		2 屋外の照明器具による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	-	

CASBEE埼玉県

重点項目シート

■使用評価ソフトウェアバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)DPL埼玉上里B 新築工BEE	1.1	BEEランク	★★★
------	---------------------	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア	緑の保全・創出のスコア			
3.7	+	2.0	=	5.7

重点項目の各スコアへの合計点				
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常に良い 6.8以上	すばらしい 8.0以上	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減

スコア平均 3:7

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.7
ライフサイクルCO2を極力抑制した。			

(2) 緑の保全・創出

スコア平均 2:0

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
敷地面積に対する緑化比率を25%以上確保した。			

:入力欄